

# かがやき

第19号

2010年 4月発行

## ◆療育の理念◆ 人間愛

## 基本方針

- 一、私たちは、障害を持った方の人権と意思を尊重し、誠意を持って、命の輝きを大切にす療育に励みます
- 一、私たちは、ご家族や関係機関と力を合わせて、ニーズに即した地域療育充実に努めます
- 一、私たちは、互いに信頼し、感謝の心で療育に取り組み、日々研鑽して療育の質の向上を目指します



社会福祉法人 二之沢愛育会 群馬整肢療護園

〒370-3531 群馬県高崎市足門町 146-1 電話 027(373)2277 FAX.027(373)2278  
E-mail sw@gunmaseishi.com HP アドレス http://www.gunmaseishi.com

## 60周年の年に向けて

園長 清水 信三

今年当園の設立者である森田伝一郎先生が「群馬整肢療護園」を昭和25年4月に創設して記念すべき60周年を迎えます。戦前から療育事業をしていた板橋の「整肢療護園」が戦災で休園している中に設立されて今に至ったわけです。ですから連続しての「60周年」は日本で初めてになることになります。この歴史は重たいものがあります。

創設期のことは30周年記念誌をこの秋に一部復刻する予定ですので見て欲しいと思いますが、「療育」の父である高木先生はじめ多くの先人の努力の賜として現在があります。これは嫩（二葉）養護学校が昨年50周年を迎えましたが、その名付け親は高木先生とのことで名前の由来からも同様のことが言えます。

この60年の変遷については石川事務長の文を見て欲しいと思いますが、そのような歴史の中で「基本理念」をもとに現在の群馬整肢療護園に期待されていることは「肢体不自由児」施設から重症心身障害児・者施設への変化と地域の障害児・者の療育のセンター的な役割を積極的に担っていくことだと思います。今まで肢体不自由児施設として群馬県の障害児療育において入所・外来とも大きな役割を果たしてきたと思います。しかし、現在は入所者の多くが重症心身障害児・者となっています。今後自立支援法が新しい法体系に変わり今後肢体不自由児施設、重症心身障害児・者施設の区別が無くなるかもしれません。重症化・重複化している入所、外来等の利用の障害児・者に対する確かな医療と療育を提供できる体制にしていなくてはなりません。その解決のためにはマンパワーの充足が必要です。「療育」に対するやり甲斐のある職場にしてモチベーションを持った医師、看護師が集う環境にしなくてはなりません。まもなく着工される託児所の建設はその第一歩と考えております。この次の10年に向かって今年が大きな飛躍の年になって欲しいと思います。



上州福島駅 塩沢宋馬 作

## 60周年を迎えるにあたって～歴史と変遷～

事務長 石川 正克

昭和25年4月に、全国に先駆け戦後一番に誕生した民間の「肢体不自由児施設群馬整肢療護園」が、今年の4月で60周年を迎えます。設立者の森田伝一郎先生は当時3つの療育方針を掲げました。それは「自立」「相携」「感謝」であり、この方針の下幾多の優秀な人材を社会に送り出したことは、30周年・50周年記念誌に詳しく掲載されているところです。

史的変遷を少したどってみますと、昭和51年に当園は入園肢体不自由児134人のピークを迎えました。その後昭和54年の養護学校の義務教育化・昭和58年の国際障害者年等の制度政策的変更とともに、少子化の影響が入園児の減少傾向と重度重複化は進み、社会の要望も外来通園や在宅療育の支援といった方向に変化していきました。

平成に入りその傾向はより強くなり、かつ時々の社会的要望に答え法人内に新事業所の設立が相次ぎました。6年重度重心病棟改築（50床）、7年総合リハビリテーション施設承認、8年母子通園事業開始、9年心身障害児（者）療育等支援施設事業開始、10年重症心身障害児B型通園事業開始、12年病棟の一部を重症心身障害児施設へ転換（50床）、14年身体障害者療護施設大地（30床）開所、16年肢体不自由児施設改築（50床）、17年重症心身障害児（者）A型通園事業開始、18年特別養護老人ホームひかりの里（50床）開所等です。

現在、各種増改築により法人内4施設利用可能ベッド数は260床、従業員は300名を超える状況です。現在入園している肢体不自由児は21名ですが、社会の変化・要望に答えながら法人は大きくなっています。そんな中で原点を考える年である事を皆様とともに再認識していきたいと思ひます。また60周年記念式典等を秋のあゆみ祭に併せて開催できればと考えております。ご協力よろしくお願ひいたします。

## 新人職員紹介 ～宜しくお願いします～



### 保育士：坂井 幸子

(趣味：スキー)

10月より勤務しています。ちょっと年令のいった普通のおばさんです。皆さんの笑顔と若いパワーをもらいながら元気に勤務していけたらと考えています。よろしくお祈りいたします。

### 看護助手：大澤 弓子

(趣味：キャンプ)

和気あいあいとした職場で毎日たくさんの笑顔と「ありがとう」の言葉の中で仕事ができることに感謝します。

### 保育士：西山 るり子

(趣味：クラシックギター・バイオリン)

5年前、見学し働きたいと考えていました。望が叶い就職でき感謝しています。その気持ちを大切に頑張りしたいと思います。ご迷惑をお掛けすることもあると思いますがどうぞよろしくお願い致します。

### 看護師：川島 佳美

(趣味：山登り・山スキー)

入職して5ヶ月が経ちますが、10年ぶりの夜勤や早出遅出などの業務内容を覚えることが多くまだまだ毎日奮闘しています。まだケアが充分とは言えませんが、個々の個性を理解し関わられるようにしていきたいと思っています。

## 平成21年度職員提案制度の結果報告

### 総務課 鈴木 裕幸

昨年度に引き続き行われた職員提案制度について、平成21年度の結果報告を致します。今年度は11件の応募があり、うち1件が最優秀賞、3件が佳作となりました。

最優秀賞に輝いた「七五三を園の行事としてみんなで祝う」は、これまで保育の活動として行ってきたものを、園の行事として園全体でお祝いしようというものです。佳作の各提案においても、「園内掲示物」を整理し利用者様が見やすい掲示を実施することや、利用者様が「もっと歩きたい」と思えるように廊下等に工夫を加え、歩行訓練等で明確な目標を立てやすくすること、プロの演奏を肌で感じる機会を増やすといった、利用者様へのサービス向上の提案が採用されました。

職員が日々感じているアイデアを多く取り入れ、利用者様が利用しやすく、職員が働きやすい群馬整肢療護園を作っていきたいと考えております。職員提案制度は本年度も実施する予定です。たくさんの応募をお待ちしています。

### 最優秀賞・・・

「七五三を園の行事としてみんなで祝う」 小林 晴美

### 佳作・・・

「園内掲示物の検印化」 千嶋 伸夫

「『もっと歩きたい!』と思える楽しく分りやすい道」

勝野 恵

「楽団によるコンサートの開催」

境野 健治

## あかぎの響 職員研修に協力させていただきました

### リハビリテーション課 角田 淳

今年度前橋市(旧富士見村)の「あかぎの響」より職員研修講師の依頼を受け、協力させていただきました。角田が職種紹介を兼ねて毎日の支援で悩んでいることを伺った後、渋谷理学療法士(「体を使った遊び、緊張のとり方、緊張を高めない姿勢・移乗方法」)、勝野作業療法士(「食事の時の手の使い方・手の機能に合った食具」)、手の機能向上のための活動・遊び)、上松言語聴覚士(「口腔機能を促す介助方法」「口腔ケア・ケア器具」「具体的なコミュニケーション方法」)、久保園臨床発達心理士(「障がい者をどう理解し、どう生きていくか」)が各職種の視点から実技も含めて具体的なアドバイスをさせていただきました。

講義後は感想・質問をいただき、反応が確認できたのも収穫でした。「あかぎの響」は若い職員も多く支援について悩んでいる事も多いようですが、それは当園も同じことです。

文献や研修等で支援技術や知識を学ぶとともに、悩みを先輩や同僚に相談し解決していく環境づくりの重要性も改めて感じました。





## 幹部職員にインタビューしました

今回は前回に引き続き、阿久澤 隆支援課長に支援課についていろいろ質問してみました。

### Q1 支援課スタッフについていくつか教えてください。どのような職種に分かれますか。

スタッフは、社会福祉士、臨床心理士、保育士、介護福祉士、社会福祉主事の資格を持っています。仕事と人数は、病棟支援員19名、地域支援7名、MSW4名、臨床心理士1名、パート（入所・地域支援担当）9名となっています。

#### それぞれどのような支援をしていますか。

入所の方への支援と在宅の方への支援に分かれます。ノーマライゼーションの思想を基本にして療育に当たっています。QOLの向上に取り組んでいます。

入所の方へは、保育やマンボウの取り組み、行事や日常的な文化等の取り入れを含め生活の質の向上に取り組んでいます。在宅の方へは、療育の支援、社会資源の紹介を進めています。また、発達に関する相談・支援、保育園や幼稚園・小学校に通っている方への相談・支援も行っています。その他に、MSWでは年金、身障・療育手帳更新手続きや入園や退園の手伝い、ケース会議運営と保護者の方の悩みや心配事の相談もしています。また、苦情の窓口、ボランティア・実習生受け入れ、地域との連携等も行っています。

### Q2 阿久澤さんについて、いくつか教えてください。

#### 阿久澤さんが療護園に入職したきっかけは何ですか。

高校生で16歳の時脳性まひの障害の方と知り合いました。その方は、演歌歌手の水前寺清子さんが歌う「人生勝負」を作詞した方です。その時代にリヤカーに乗って学校通学し教育の機会を与え、知的財産を残した母親の取組みと彼に感銘を受け福祉の道を選びました。そして昭和52年、病院でもMSWを置くことが少ない時代福祉施設でMSWを配置している前向きな運営に引かれ療護園を選びました。

#### 最後に今後の方針や目標について教えてください。

「笑いと思いやりがある働きやすい職場」と「心に余裕ある職員に囲まれてこそ利用者の方の心も癒やされていきます。チームワークが大事にされ家庭的で暖かい療護園を目指し支援課長として全力で取り組んでいきたいと思っています。



阿久澤支援課長



朝のミーティングの様子

## 園の行事予定（平成22年4月～9月）

行事日程については予定の為変更になることがあります。

- |     |                                                                                                                     |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月  | 幼児保育お始まり式<br>マンボウグループ活動開始式                                                                                          |
| 25日 | 父母会総会                                                                                                               |
| 5月  | 母子通園事業つばみの部屋お始まり式<br>A通親子遠足（幼児）<br>若草 療育部行事<br>そよ風療育部行事（グループ別）<br>幼児遠足<br>さわらび療育園との交流会（マンボウ活動）<br>フランシスコの町との交流会（幼児） |
| 6月  | 若草 療育部行事<br>そよ風療育部行事（グループ別）<br>関東ブロック父母会（千葉県大会）<br>父母会夏祭り<br>さわらび療育園との交流会（マンボウ活動）                                   |
| 7月  | そよ風療育部行事（マンボウG）                                                                                                     |
| 29日 | 療育部行事・若草 一泊キャンプ<br>（伊香保方面）<br>そよ風ゆったりG日帰り行事<br>プール活動                                                                |
| 8月  | そよ風療育部行事（マンボウG）<br>プール活動                                                                                            |
| 19日 | 療育部行事・若草 一泊キャンプ（長野方面）<br>そよ風ゆったり日帰り行事<br>重心児（者）守る会 一泊キャンプ                                                           |
| 9月  | 幼児合同運動会（入園児・外来通園児合同）<br>A通外出行事（成人）<br>フランシスコの町との交流会（幼児）<br>保護者同伴行事（マンボウ保護者）                                         |